

手指衛生の方法

速乾性手指消毒剤による手指衛生（目に見えて手指が汚れていない場合）



①消毒剤を適量
（ワンプッシュ）とる



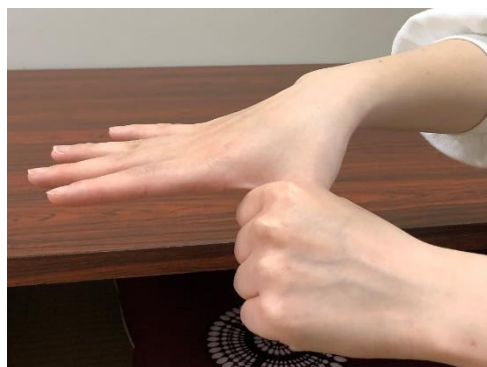
②指先・爪の間に消毒剤
を擦り込む



③手のひらを合わせて
よく消毒する



④手のひらで手の甲、
指の間を左右消毒する



⑤親指を手のひらでねじり、
左右消毒する



⑥手首も忘れず、消毒する

15秒以上かけて
しっかり擦り込む

手指衛生の方法

流水と石鹼による手指衛生（目に見えて手指が汚れている場合）



①手のひらを合わせてよく洗う



②手のひらで手の甲を左右洗う



③指先・爪の間を入念に左右洗う



④指の間を入念に洗う



⑤親指と手のひらのねじり洗いを左右する。



⑥手首を忘れずに洗う

手洗い時間は
30秒～1分かけて

流水で石鹼を確実に流し、
確実に乾燥させる

手指衛生のタイミング

適切なタイミングで手指衛生を行い、感染経路を遮断する

- ① 入居者（利用者）に触れる前
- ② 食事や薬などの介助の前
- ③ 便・尿・飛沫などに触れた可能性のあった後
- ④ 入居者（利用者）に触れた後
- ⑤ 入居者（利用者）の部屋の環境に触れた後



手袋の使用をしていても、
5つのタイミングで手指衛生を行う

WHO Guideline on Hand Hygiene in Health Careを改変

始業前、終業時、外出から帰ってきたとき、
食事休憩前後等にも手指衛生を行いましょう！



手指衛生の環境整備

○必要な場所に手指消毒剤を配置

施設および各フロアの出入口、ケア台車、人の集まる環境、トイレ、PC等の共有物品の近く等

○手洗い場所には石鹼液と使い捨てのペーパータオルを設置

ペーパータオルは水の飛び跳ねる位置に設置しない
ペーパータオルは横または下向きの引き出し式がよい



○個人で手指消毒剤を携帯

特に環境への設置が困難な場合は活用する

